

本文に出てくるドンキホーテな。高校の時、芸術鑑賞で観たよ。体育館のステージで劇団のちびっ子達が演じてくれて。観る前はぶっ飛び興味もなく、たいていぎへんと思ってたけど、実際観たらおもしろさにひきこまれ、最後はうろって感動。それがずっと心の片隅に残って、

自問自答

その27

令和5年10月17日(火)
発行人: パッカーになった時、スペインへ言えば

広島市立己斐上中学校 進路通信

そうだ! ドンキホーテだ! カンポ・デ・クリプターナに
行ってみたい!! と。実際行ってみたら感動〜...の



もしも戦力外と告げ
られたなら

毎年この時期になると自問自答することがある。「来季も契約を
結んでももらえるほど、結果は出せただろうか。」と。もちろん教育の
世界はすぐに結果がわかるような世界ではないが(君らが旅に

出るのは4,5年先だし,, ,な〜んて)そのことに甘んじてはいないか、やれるだけのことはやってみたか、な
ど自分を振り返るようにしている。

願わくは、振り返る場所はカンポ・デ・クリプターナ(ドン・キホーテ,, ,と言っても驚安の殿堂の方じゃないぞ。
念のため。の舞台となった、風車と青空がそれはそれは見事で美しい丘の町。スペインにありますね。)や、
ポルトガルのロカ岬(ヨーロッパ最西端の岬。何があるわけじゃないけど、お〜、これがヨーロッパ大陸の
西の端かあ、と物思いにふける場所。)あたりがベストだが、残念ながら自宅の風呂であることが多い。

どうして振り返る流れになるかという、毎年この時期、多くのプロ野球選手が「戦力外勧告」を受ける
のだ。プロになることがゴールではなく(君らで言う、高校に入ることがゴールではなく)、プロになって懸
命に懸命にプレーしてきたにもかかわらず「戦力外」としてクビになるのだ(ーー)

30代、中には20代の選手もいる。ほんの数年、プロの世界に身を置いたが、結果を残せず去っていく。
中には盛んに引退試合を組んでももらえる選手もいるが、それはほんの一握り。ほとんどの選手が人知れ
ず去っていくことになる。自ら望んだ世界とは言え、なんとも厳しい世界ですよ。そういう状況がテレビで
放送されたり、記事を読んだりすると、やはり自分に置き換えて考えてみたりするわけですよ。それが「自問
自答その1」に書いた、『毎年、これが最後の一年のつもりでやっています』につながるわけです。

で、今回、何が言いたいのかというと、君らもプロの中学生として3年目を迎えているわけです。いや、プ
ロの学生ということでは、小学生から考えると「プロ学生9年目」です。野球で言えば9年目はもう立派な
中堅選手、スタメンに名を連ね、試合で活躍してほしい年数なわけだ。

どうだ? プロとして日々、自分を鍛えていますか? (義務教育でもあるし)解雇されないことをいいこと
に手を抜いてはいないか? 来季も契約してもらえそうなら、日々を一生懸命生きてるか? 授業を受
けるプロとしての姿勢はどうだ? 英語の毎日ノートを出すのはプロとして当たり前のプレーじゃないのか?
いまだにタブレットの使用ルールを守れず、動画を見る・ゲームをする心の弱さって、プロの心構えとしてど
うよ? そういったことをこの機に振り返ってみてもいいんじゃないか、と思いこの号を書いている。

もう一回言うぞ。君らは学生のプロだ。プロ9年目の選手だ。プロとしての心構え、プロとしての振る舞い、
プロとしての誇りをもって残りの中学校生活を過ごしてくれ。残り試合(登校日数)はわずか80試合ぐら
いだからな。全勝するつもりで試合に臨んでおくれ!(へ)!

人の出会いとは不思議なもので、本文に出てきた仲良しの先生、福島県から派遣されてたんだけど、広島においでよ〜と口説いて口説いて、結果、家族5人で広島に移住(笑)。今は安佐南区の技術の先生です。彼のおじいちゃんのエピソードが大好きな

自問自答

その28

令和5年10月19日(木)

広島市立己斐上中学校 進路通信

発行人: *

アーモンドチョコレートを食べたとき、
ガリッとなって放った一言。
「気を付けなさい! でっかい種が入ってるぞ!!」... の



宮島→人込み→ケチャップ

授業でもちらっと話したがな、今後、君らが旅に出るにあたって、この知識は身に付けておこう。一時流行った「ケチャップ

(ソース、マヨ、アイスなどバリエーションは豊富)強盗」な。

旅に出て街を歩いてると背後から来た人に声をかけられる。「上着(かばん)にケチャップがついてますよ。」と。なんとまあ親切な! と感動している場合ではない。「拭いてあげるから脱いで脱いで(^)」と続き、ここでも「なんて旅人に優しいんだあ。」と更なる感動に浸っている場合ではない。

上着を脱いだスキ、拭いているスキ、カバンを横に置いたスキ、リュックを背から降ろしたスキ、どこかのスキで気づいたときには貴重品を盗られている、というのが一般的な手口。声をかけてきた人の単独行動の時もあれば、グループで一連の流れをこなす一団もいる。

ちなみに上海にいた時、私の仲良しの先生が、新しく上海に赴任してきた先生をとある広場(ショッピングモール街)に案内し、「ここはスリが多いから気を付けてくださいね。」と注意喚起。そうやって広場を案内している最中(おそらくエスカレーターの背後にいた人)に自分が背負っていたリュックから買ったばかりのアイパッドミニを抜き盗られていた(ーメ)

「ねっ、危ないでしょう(;_;)」と注意喚起という目的を、実演をもって果たすという立派な姿を見せていた。

実際私が経験したケースでは、あれ、どこの国だったけなあ、モロッコだったかなあ、町の両替所でお金を両替したところからマークされてたんでしょね。笑顔で近づいてきた兄ちゃんが「ハロー !! ジャパン! カラテ、カラテ!」と言いながら私に組み手を仕掛けてきて、やたら足払いをしようとする。皆さん、もうわかりましたか? 注意を足に向けさせ、そのスキにポケットに手を入れ、お金を抜き取る手口です。幸い私は気づき、ポケットに入れられた手をつかむと、その兄ちゃんは私の手を振り払って逃げていきました。

まあこんなことばかり書くと、皆さんが旅に出るのが怖くなっちゃいけないのでほどほどにしておきますが、メキシコで会った A 君は、職務質問してきた警察に、,, 自主規制(/ω\),,, あるよねえ、そういうこと。

同じくメキシコの安宿に「あの〜、実は、,, 」とチェックインしてきた B 君は、,, 自主規制(/ω\),,, とりあえず明日、一緒に日本大使館行こっか。

スペインの安宿で会った C 君は、首に包帯を巻いていたので、みんなが「一体どしたの?」って聞くと、「あ〜、これ? 私、南米から飛んできたんですけど、,, 自主規制(/ω\),,, ん〜、一旦帰国した方がいんじゃないね?

あははははは、まあ、そういうことも稀(まれ)にあるわな。普通?に過ごしてたら安全なので皆さん、安心して旅に出てください。というわけで、宮島です。観光客も多いと思うで、一応、一応ね、気を付けてお過ごしください。事前予習もしっかりと。どこに泊まるのか? あっ、海外からの観光客に実践英会話のチャンス !!